

毎日新聞朝刊 東京都内版
2015年10月17日(土)掲載

の手順を確認している
効果が出た」と話して
いた。【黒川将光】



街を歩き手作り
地域安全マップ

江東・南陽小

犯罪や事故に巻き込まれないよう、子どもたちが自ら街を歩き、手作り地図を作る「地域安全マップ教室」(「たいじょうぶ」キャンペーン実行委員会主催、明治安田生命協賛)が16日、江東区東陽2の区立南陽小学校で開かれ、3年生118人が参加した。
立正大学の小宮信夫教授(犯罪心理学)の講義の後、児童は7、

8人ずつのグループに分かれて学校周辺を歩きながら危険な場所を見て回った。学校に戻り、模造紙に地図を描き、危険な場所の写真とコメントなどを付け加えた。参加した人見涼平君(9)は「落書きやゴミがある場所は危険が潜んでいると教わった」、涌井琉斗君(9)は「ガードレール

がないと不審車が近付きやすいと聞いた。気をつけたい」と話した。

【柳澤一男】



グループに分かれて、学校周辺の危険な箇所を示す地図作りをする児童たち—江東区東陽2の区立南陽小学校で